
TOKYO FM 朝のワイド番組「クロノス」 ウェイクアップソングを馬場俊英がかきおろし！！ タイトルは、勿論「クロノス」！！

TOKYO FM朝のワイド番組「クロノス」ウェイクアップソングを、シンガーソングライター馬場俊英が書き下ろし！タイトルそのまま「クロノス」。毎日6時、この曲とともに、東京の朝がスタートします！

このウェイクアップソングは、5月に馬場俊英が番組に出演したとき、パーソナリティの中西哲生と意気投合し、生まれた曲です。番組では、リスナーからも歌詞のアイデアを募集して楽曲制作に生かしました。一日の始まりをポジティブに過ごすためのテーマソングとしてふさわしい曲になっており、「クロノス」では10月1日～毎日6時台の頭にオンエアしています。

また、この「クロノス」はCD化も決定。シングル「明日に咲く花」の中に収録され、11月25日に発売されます。

■TOKYO FM「クロノス」ウェイクアップソング「クロノス」について

馬場俊英です。クロノスのウェイクアップソングがついに完成いたしました。

今回は、中西さんや柴田さん、そしてこのクロノスという番組から繋がる事が出来たリスナーの皆さんからキーワードとなるメッセージをいただきながら曲を作っていったんです。

普段の曲作りというのは、どちらかというと孤独な作業というんでしょうか、ひとりきりで自分に問い掛ける、自分に向き合うような時間になることが多いんですが、今回はそんなたくさんの繋がりの中で楽しく音楽作りが出来たな～という、そんな作業になりました。

机の上に皆さんからいただいたメッセージやキーワードを書いた紙を一面に広げて、言葉に囲まれながら、ギターをかかえて曲を作っていったんです。

僕の持ってるイメージなんですが、時間の流れ・時の流れという縦の時間軸、これを縦のストリートと呼んでます。

そして僕らの暮らしの中の場所の移動、自宅から会社だったり、そういう場所の移動を横のストリートと呼んでます。

そんな時間という縦のストリートと、場所の移動という横のストリートがぶつかり合う交差点、それが一日の始まりである朝、そしてこのクロノスという番組。

ここから我々は一体どんなものに出会うんだろう、どんな体験をするんだろう、そんな思いを込めて作っていった曲が今回、いよいよ完成致しました。

是非みなさんにも真っ白な一日の始まりに聞いていただけたら嬉しいです。

馬場俊英（10月1日クロノスより）



67年埼玉生まれのシンガー・ソングライター。

1996年「星を待ってる」でフォーライフよりデビュー。合計7枚のシングルと3枚のアルバムをリリースするも、2000年に契約終了となる。自主レーベルを設立し、地道な活動を続け大阪地方を中心にゆっくりと人気を広まっていく。そんな中、5枚目のアルバム『鴨川』に収録されている「ボーイズ・オン・ザ・ラン」がラジオから反響を呼び、コブクロがアルバム『MUSIC MAN SHIP』でカバー、大阪万博公演で行われたイベント「風に吹かれて」でコブクロと共演。12000人の心を掴んだ馬場は、これをきっかけに2005年、フォーライフミュージックエンタテイメントと再契約、8月にシングル「BOYS ON THE RUN 4 SONGS」でメジャー復帰。2007年、大阪城野外音楽堂にて念願のワンマンライブ、サウンドプロデューサーにコブクロの小淵健太郎を迎えた13thシングル「スタートライン 4 SONGS」をリリース。年末には「第58回NHK紅白歌合戦」初出場を果たす。2008年7月、ワーナーミュージック・ジャパンに移籍。移籍第一弾シングル「ファイティングポーズの詩」、アルバム『延長戦を続ける大人たちへ』をリリース。心機一転、新たなステージへと飛躍を続けている。

TOKYO FM携帯サイト「Music Village」にて着うた®先行配信決定！

10月19日午前0時から「クロノス」の着うた®を先行配信します。11月3日までは独占先行配信となります。

(URL: <http://www.tfm.co.jp/music/>)

※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。